



# 兵庫県職員募集

## (採用選考試験案内)

### ◇受付期間

(郵送) 5月26日(金)～6月28日(水) 消印有効

(持参) 5月26日(金)～6月30日(金) 9時～17時 (土・日・祝日は除く)

### ◇筆記試験日 7月 8日(土)

※行政A(大卒程度)・資格免許職採用試験とは受付期間、筆記試験日が異なりますので、  
ご注意ください。

筆記試験日に「自己PRカード」を回収します。「自己PRカード」については  
5ページをご覧ください。

## 1 募集職種・採用予定人員・職務内容

職 種	採用予定人員	職 務 内 容
産業技術職 (機械系)	1名程度	県立工業技術センター及び本庁、県民局等での工業技術の振興に関する業務で行う機械分野における設計、製造、検査等に関する試験・研究、技術指導等の業務
理化学職 (物理)	1名程度	警察本部刑事部科学捜査研究所での交通事故等の物理に関する鑑定、検査、研究及び実験等の業務
職業訓練指導員 (建築系)	1名程度	県立ものづくり大学校、県立但馬技術大学校、県立高等技術専門学院等で行う訓練生に対する教育指導等の専門的業務
職業訓練指導員 (機械系)	1名程度	
埋蔵文化財技師	2名程度	県立考古博物館等での埋蔵文化財の発掘調査、出土品整理及び博物館事業等の業務
研究員 (環境情報学)	1名程度	県立人と自然の博物館における専門的分野の調査・研究、普及教育、参加型地域づくりの企画実践の業務
学芸員 (日本近現代史)	1名程度	県立歴史博物館等で行う資料の収集・保管・展示及び文化財の調査研究、教育・普及等の業務
臨床工学技士	1名程度	県立病院における生命維持管理装置等の操作及び保守点検等の業務
海技職 (知事)	2名程度	県立農林水産技術総合センター等での漁業調査船、漁業取締船の運航及び漁業調査、漁業取締り等の業務
海技職 (教育委員会)	2名程度	県立香住高等学校での漁業実習船における機関操作、甲板作業及び実習業務
医療情報職A	1名程度	県立病院における医療情報システムの開発・維持管理や院内ネットワーク、インターネットの利用環境整備等の業務
医療情報職B	1名程度	

(注) 1 採用予定人員は、変更することがあります。

2 受験申込は、上の表のうち1職種に限ります。また、申込書受付後の職種の変更は認めません。

## 2 受験資格等

### (1) 受験資格

職 種	受 験 資 格
産 業 技 術 職 ( 機 械 系 )	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、4年制の大学又は大学院の課程において、機械系(航空系を含む)分野の学科を専攻して卒業(修了)した者又は平成30年3月31日までに卒業(修了)見込みの者
理 化 学 職 ( 物 理 )	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、4年制の大学又は大学院の課程において、機械工学又はその他これに類する学科等を専攻して卒業(修了)した者又は平成30年3月31日までに卒業(修了)見込みの者
職 業 訓 練 指 導 員 ( 建 築 系 )	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、職業訓練指導員(建築科)の免許を有する者又は同免許の取得資格を有する者(採用後の実務経験等により取得可能となる者を含む)
職 業 訓 練 指 導 員 ( 機 械 系 )	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、職業訓練指導員(機械科またはメカトロニクス科)の免許を有する者又は同免許の取得資格を有する者(採用後の実務経験等により取得可能となる者を含む)
埋 蔵 文 化 財 技 師	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、次の①及び②のいずれにも該当する者 ①学芸員の資格取得者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者 ②4年制の大学又は大学院の課程において、考古学、史学、地理学、人文学を専攻して卒業(修了)した者又は平成30年3月31日までに卒業(修了)見込みの者
研 究 員 ( 環 境 情 報 学 )	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、大学院博士前期(修士)課程で建築学、都市計画学、環境計画学、緑地計画学を専攻し、その課程を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者
学 芸 員 ( 日 本 近 現 代 史 )	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、次の①及び②のいずれにも該当する者 ①学芸員の資格取得者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者 ②4年制の大学又は大学院の課程において、日本近現代史その他これに類する学科等を専攻して卒業(修了)した者又は平成30年3月31日までに卒業(修了)見込みの者
臨 床 工 学 技 士	・昭和33年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在59歳以下)で、臨床工学技士の免許を有し、病院で臨床工学技士としての業務経歴を10年以上有する者
海 技 職 ( 知 事 )	・昭和58年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在34歳以下)で、5級海技士(航海又は機関)以上の免許取得者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者
海 技 職 ( 教 育 委 員 会 )	・昭和42年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在50歳以下)で、5級海技士(航海又は機関)以上の免許取得者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者
医 療 情 報 職 A	・昭和33年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在59歳以下)で、次の①及び②のいずれにも該当する者 ①情報システムの運用等の業務経歴を17年以上有している者 ②病院での医療情報システムの運用等の業務経歴を5年以上有している者
医 療 情 報 職 B	・昭和33年4月2日以降に生まれた者(平成30年4月1日現在59歳以下)で、病院での医療情報システムの運用等の業務経歴を5年以上有している者

※ 4年制の大学又は大学院には、学校教育法に基づく大学又は大学院の他、これと同等と認められる大学校等を含みます。

※ 大学院修了者には、単位取得退学者を含みます。

(2) その他

- ア 地方公務員法第 16 条に規定する欠格条項の各号（8 ページに記載）のいずれかに該当する人は受験できません。
- イ 理化学職（物理）は、日本国籍を有しない人は受験できません。
- ウ 職業訓練指導員（建築系）、職業訓練指導員（機械系）の職業訓練指導員免許の取得資格を有する者は、主に次のとおりです。
  - ① 職業能力開発総合大学校の免許職種に関する長期課程、長期養成課程若しくは職種転換課程を修めて卒業した者（平成 30 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの者を含む）
  - ② 免許職種に関する学科を修めた者で、工業等の教科についての高等学校の教員の普通免許状（教育職員免許法第 4 条第 1 項に定める普通免許状をいう。）を有する者
 ※ 採用後の実務経験等により職業訓練指導員免許を取得可能となる者は、主に次のとおりです。
  - ・学校教育法に基づく大学において、関係免許職種に関する学科を卒業した者（平成 30 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者を含む）
  - （採用後、当該免許職種に関し 2 年以上の実務経験、厚生労働大臣が指定する講習（48 時間にわたって指導技法に関する知識を習得）を修了することによって取得可能）
- エ 埋蔵文化財技師、学芸員（日本近現代史）、臨床工学技士、海技職（知事）、海技職（教育委員会）については、採用にあたり、受験資格に記載する資格又は免許が必要です。
- オ 産業技術職（機械系）、理化学職（物理）、埋蔵文化財技師、研究員（環境情報学）、学芸員（日本近現代史）については、採用にあたり、受験資格に記載する大学又は大学院の課程を卒業（修了）することが必要です。

3 受験手続・申込・問合せ先等

(1) 受験手続

- ア 申込締切日までに受験申込書（11 ページ～12 ページ）により、(2)の申込先まで郵送又は持参により申し込んでください。なお、**提出はA4両面印刷**としてください。
- イ 「自己PRカード」は、筆記試験日に回収しますので、申し込み時には提出不要です。
- ウ 産業技術職（機械系）、研究員（環境情報学）、学芸員（日本近現代史）、埋蔵文化財技師の申込者については、履歴書のほか、以下の書類を提出してください。

職 種	提 出 書 類
産 業 技 術 職 ( 機 械 系 )	①専攻に関する既発表論文（大学卒業論文、大学院修士論文及び大学院博士論文除く）又は著書・研究報告書等の一覧表（著者、タイトル、雑誌名、巻号頁、発行年を記載のこと、書式は自由） ②大学卒業論文、大学院修士論文及び大学院博士論文の課題名及び要約（現在、研究中のものも含み、既発表論文については本文の写しでも可） ③学会・シンポジウム等での発表実績一覧表（発表者、タイトル、発表会名、主催者、発表年月日を記載のこと、書式は自由） ※ ①、②、③の資料は筆記試験での業績審査において審査を行います。
研 究 員 ( 環 境 情 報 学 )	①専攻に関する既発表論文（大学卒業論文、大学院修士論文及び大学院博士論文を含む）又は著書・研究報告書等の本文の写し
学 芸 員 ( 日 本 近 現 代 史 )	②学会・シンポジウム等での発表実績（レジメ・案内の写し等） ※ ①、②の資料は筆記試験での業績審査において審査を行います。
埋 蔵 文 化 財 技 師	①発掘調査歴（別紙様式 1（9 ページ）） ②出土品整理歴、発掘調査報告書等執筆歴（別紙様式 2（10 ページ）） ※ ①、②の資料は面接試験における個別面接時の参考資料として使用します。

- エ 申込後は、提出された履歴書等は返却しませんので、必要がある場合は、各自コピーをとるなどしておいてください。

(2) 申込・問合せ先

職 種	申 込 ・ 問 合 せ 先
産業技術職（機械系）、職業訓練指導員（建築系）、職業訓練指導員（機械系）	〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県産業労働部政策労働局産業政策課 直通電話 (078)362-3310
海技職（知事）	〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県農政環境部農政企画局総務課 直通電話 (078)362-3398
理化学職（物理）	〒650-8510 神戸市中央区下山手通 5-4-1 兵庫県警察本部警務部警務課 代表電話 (078)341-7441 内線 2632
臨床工学技士、医療情報職A、医療情報職B	〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県病院局管理課 直通電話 (078)362-3224
埋蔵文化財技師、研究員（環境情報学）、学芸員（日本近現代史）、海技職（教育委員会）	〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県教育委員会事務局総務課 直通電話 (078)362-3738

(3) 申込締切日

ア 郵送の場合 平成29年6月28日（水）【当日消印有効】

イ 持参の場合 平成29年6月30日（金）17時

※ 郵送申込の場合は、**封筒の表に「〇〇職申込書在中」と朱書き**してください。また、郵便事情により申込先への到着が遅れることがありますので、**早めにお送りいただくとともに、各自で、郵送申込締切日までに前記申込先あて受付されていることを必ず電話で確認してください。**

(4) 受験手続上の留意事項

受験票等の送付は行いませんので、**試験当日の開始時刻までに会場にお越しください。**



## 5 選考試験方法

区分	職種	種目	配点	内容
筆記試験	産業技術職（機械系） 研究員（環境情報学） 学芸員（日本近現代史）	専門試験 （2時間）	200点	各職種に必要な専門的知識について、択一式・記述式により試験を行います。（別表参照）
		業績審査		事前に提出された資料に基づき、各職務の遂行に必要な業績について審査します。
	埋蔵文化財技師	専門試験 （2時間）	200点	職種に必要な専門的知識について、択一式・記述式により試験を行います。（別表参照）
		実技試験 （1時間）		遺物実測図の作成に必要な実技について、試験を行います。
	理化学職（物理） 職業訓練指導員（建築系） 職業訓練指導員（機械系） 臨床工学技士 医療情報職A 医療情報職B	専門試験 （2時間）	100点	各職種に必要な専門的知識について、択一式・記述式により試験を行います。（別表参照）
海技職（知事） 海技職（教育委員会）	専門試験 （1時間30分）	100点	各職種に必要な専門的知識について、択一式・記述式により試験を行います。（別表参照）	
面接試験	全職種	口述試験 （1人20～30分程度）	300点	個別面接により、態度、表現力、信頼性、積極性、適応性について、試験を行います。
		適性検査	—	職務の遂行に必要な適性について検査を行います。

※1 出題は、活字印刷文により行います。

※2 筆記試験は、合格基準に達した者のうち、得点順に合格者を決定します。また、産業技術職（機械系）、研究員（環境情報学）、学芸員（日本近現代史）については、専門試験及び業績審査、埋蔵文化財技師については、専門試験又は実技試験それぞれの合格基準に達した者のうち、合計得点順に合格者を決定します。

※3 面接試験は、筆記試験合格者に対して行います。（7月8日（土）に全ての試験を実施する場合を除く。）

※4 最終合格者は、面接試験の結果に基づき決定し、筆記試験の結果は反映されません。ただし、面接試験の合格基準に達しない場合は、得点にかかわらず不合格となります。

※5 7月8日（土）に全ての試験を実施した場合でも、筆記試験の合格基準に達していなかった場合は、不合格となります。

(別表) 【専門試験の出題範囲】

職種	出題範囲
産業技術職 (機械系)	機械設計(材料力学、機械力学) 機械加工・工作 数学 英語等
理化学職 (物理)	物理全般 数学全般 機械工学等
職業訓練指導員 (建築系)	建築設計製図 建築計画 建築環境工学 建築設備 構造力学 建築構造 建築材料 建築施工 建築法規等
職業訓練指導員 (機械系)	数学・物理 材料力学 機械力学 流体力学 熱力学 機械設計・製図 機械工作 制御工学 電気・電子工学 材料 安全管理等
埋蔵文化財技師	研究史 年代論 兵庫県の遺跡・遺物 考古学用語 埋蔵文化財調査手法 文化財関連法令 博物館関連法令等
研究員 (環境情報学)	研究史 住環境・自然環境分析 都市計画・まちづくり手法 都市及び 地方計画関連制度 地域振興 地域コミュニティ等
学芸員 (日本近現代史)	博物館学 日本近現代史 日本近現代文化史 兵庫県の歴史文化に関 する基本的知識等
臨床工学技士	医学概論(公衆衛生学、人の構造及び機能、病理学概論及び関係法規を含む) 臨床医学総論(臨床生理学、臨床生化学、臨床免疫学及び臨床薬理学を含む) 医用電気電子工学(情報処理工学を含む) 医用機械工学 生体物性材料工学 生体機能代行装置学 医用治療機器学 生態計測装置学 医用機器安全管理学等
海技職 (知事)	航海・計器 船用機関 漁業 漁船運用 機械設計工作 電気工学 水産生物 海洋環境 操船 国際条約 海事法令等
海技職 (教育委員会)	
医療情報職 A	医学(医学・医療総論、検査・診断、処置・治療、医療プロセス等) 医療・社会学 医療制度 医療関連法規 医療情報システム データベース技術 情報セキュリティ システム運用管理 ネットワーク等
医療情報職 B	

## 6 試験結果の開示

この試験の結果は、個人情報保護に関する条例第26条第1項の規定により、口頭で開示請求することができます。

なお、電話・はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人であることを明らかにする写真付きの書類(運転免許証、旅券等)を持参のうえ、**受験者本人が直接おいでください。**

区分	開示請求できる者	開示内容	開示期間 (土・日・祝日等の開庁日は 除く9時～17時)	開示場所
筆記試験	受験者	筆記試験得点 及び順位	平成29年8月1日～ 平成30年7月31日	人事委員会事務局 職員課 (県庁第3号館8階)
面接試験		面接試験得点 及び順位	平成29年9月7日～ 平成30年9月6日	

※ 平成29年7月8日(土)に全ての試験を実施した場合は、筆記試験の開示期間に準じます。

## 7 採用予定時期

平成30年4月1日

※欠員等の状況等により、予定より早く採用される場合があります。

## 8 その他

(1) 試験当日は、筆記用具、消しゴム、黒ボールペン、自己PRカードを各自必ず持参してください。

なお、埋蔵文化財技師の受験者は、鉛筆及び実測用具（マーコ（型取り器）、三角定規、直定規、キャリパー、ディバイダー、コンパス等の遺物実測に必要な道具）、昼食をあわせて持参してください。

また、申込者が少ない職種については、7月8日（土）に全ての試験を実施しますので、その場合は昼食を必ず持参してください。7月8日（土）に全ての試験を実施するかどうかは、7月7日（金）10時以降に、前記の「申込・問合せ先」に問い合わせてください。また、兵庫県ホームページ（採用試験のページ「採用選考試験情報（競争試験以外）」）にも掲載します。

（ホームページのアドレス [https://web.pref.hyogo.lg.jp/ji02/pc01\\_000000074.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/ji02/pc01_000000074.html)）

(2) 試験時間中、**携帯電話等の通信機器の使用は禁止します。**

(3) 試験会場への自動車、単車の乗り入れは一切できませんので、公共交通機関を利用してください。

(4) 地方公務員法第16条の欠格条項は次のとおりです。

- ・成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・兵庫県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者





名 前 \_\_\_\_\_

**出土品整理歴**

No.	従事期間	都道府県・市町村名 及び遺跡名	調査機関名	従事の 職種	業務内容
記入例	平成 28 年 8 月 1 日 ～ 平成 28 年 9 月 30 日	兵庫県神戸市 〇〇遺跡、〇〇古墳	兵庫県教育委員会、 〇〇大学考古学研究室等	調査員、補助員、アルバイト等	接合、復元、実測、保存処理、撮影等

**発掘調査報告書等執筆歴**

No.	論文名・書名	発行者	発行年月日	執筆部分・内容等
記入例	〇〇遺跡発掘調査報告書等	兵庫県教育委員会、 〇〇大学考古学研究室等	平成 28 年 3 月 31 日	編集、〇〇時代の遺構、〇〇時代の土器・石器、〇〇について等

※ 欄が不足する場合は同じ様式で別紙に記入してください。

# 平成 29 年度 兵庫県職員採用選考試験 受 験 申 込 書

(記入日:平成 年 月 日)

受験希望職種	
受験番号 ※この欄は記入しない	

※ 写真貼付欄  
40mm×30mm  
裏面に職種と  
名前を記入

(ふりがな)		
名前		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日(昭和・平成・西暦) 年 月 日生 (平成30年4月1日現在満 歳)	国籍	<input type="checkbox"/> 日本国籍 <input type="checkbox"/> 外国籍
(ふりがな)		
現住所(〒 )		
TEL — —	F A X — —	
E-mail @	携帯電話 — —	
(ふりがな)		
連絡先(〒 ) ※現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入		
TEL — —	F A X — —	
E-mail @	携帯電話 — —	

【学歴・職歴など】

※ 欄が不足する場合は、この用紙をコピーのうえ使用してください。

学歴 (高校以上)	学校名	学部(研究科)名	学科(専攻)名	所在地(市区町村名まで)	在学期間		区分
	最終			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	<input type="checkbox"/> 卒 <input type="checkbox"/> 中退 <input type="checkbox"/> 卒見
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	<input type="checkbox"/> 卒 <input type="checkbox"/> 中退
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	<input type="checkbox"/> 卒 <input type="checkbox"/> 中退
職歴	勤務先(部課名まで)		職務内容	所在地(市区町村名まで)	在職期間		
	最終			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月
	その前			市区 町村	年 月から 年 月まで	年 月	年 月

受験資格に係る免許・任用資格、大学・大学院の卒業(修了)又は卒業見込みの学科又は専攻

職種	受験番号	名前
----	------	----

自己PRカード(平成29年度 第1回選考)

兵庫県人事委員会

自己PRカードに必要事項を手書きで記入のうえ、筆記試験当日に持参してください。

次のページにも、職種、受験番号、名前を記入してください。

[県職員志望の動機を記入して下さい]

[専攻学科及びゼミナール・卒論等での研究分野、知識に関する得意分野等を記入して下さい]

[クラブ・サークル活動や仕事・アルバイト、ボランティア・社会活動などの実績や、特に力を入れて取り組んだこと、そこから得たことなどを具体的に記入して下さい]

(実績の例:クラブ活動において全国大会出場や近畿大会・県大会等において入賞、ボランティア活動での表彰歴など)

[「自分の力で兵庫県をより良くしたい」、「ふるさと兵庫のために、これまで培ってきたことを生かしたい」など、兵庫県への愛着・想いを、あなたと兵庫県との関わりを踏まえ、具体的にアピールして下さい]

[兵庫県では、①元気で行動力のある人材②課題への対応力を持った人材③責任感のある人材④斬新な発想を持った人材 を求めています。これらの能力について、あなたの具体的な経験を踏まえて自己PRして下さい]

(裏面あり)

職種	受験番号	名前
----	------	----

〔資格・免許〕

受験資格に係る免許・任用資格、大学・大学院の卒業(修了)又は卒業見込みの学科又は専攻

語学系の資格・点数・能力等 (英語検定、TOEIC、海外留学、その他語学に関してPRできることがあれば何でも記入して下さい)

(外国語の語学力について、あてはまる番号があればその番号を下の口に記入して下さい)

〔聞く〕 1 会話の内容を完全に理解できる 2 外国の映画を字幕なしで理解できる 3 日常生活における会話を理解できる  
〔話す〕 1 同時通訳ができる 2 どのような会話でもふさわしい表現ができる 3 日常生活における会話ができる

外国語名	聞く	話す	外国語名	聞く	話す	外国語名	聞く	話す

その他 PR できる資格・免許・能力があれば記入して下さい(法律、会計・経済、パソコン等に関する資格・免許・能力)  
普通自動車運転免許を取得(取得見込みを含む)している場合も、その旨記入して下さい

〔併願状況〕

1 公務員試験の受験状況

分類	試験・団体名	区分・職種	1次試験	2次試験	3次試験	備考
国家公務員						
地方公務員						
その他						

※下の記入例を参照しながら、兵庫県以外の公務員試験受験状況について、「合格」、「不合格」、「受験予定(○/○筆記、○/○面接など)」「発表予定(○/○発表)」を記入して下さい。

【記入例】

分類	試験・団体名	区分・職種	1次試験	2次試験	3次試験	備考
国家公務員	一般職	大卒区分	合格	合格		近畿
地方公務員	大阪府	事務	合格	合格	7/31 発表	
その他	国立大学法人	事務	合格	7/15 面接		〇〇大学

2 民間企業、その他

分類	試験・団体名	区分・職種	1次試験	2次試験	3次試験	備考
民間企業						
その他						

※下の記入例を参照しながら、民間企業などの受験状況について、「合格」、「不合格」、「受験予定(○/○筆記、○/○面接など)」「発表予定(○/○発表)」を記入して下さい。

【記入例】

分類	試験・団体名	区分・職種	1次試験	2次試験	3次試験	備考
民間企業	(株)〇〇〇〇	専門職	合格	合格		
その他	独立行政法人 国立病院機構	医療ソーシャル ワーカー	合格	9/〇 面接		近畿

②その他(大学院受験予定など)